



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月8日

上場会社名 クラボウ(倉敷紡績株式会社) 上場取引所 東  
 コード番号 3106 URL <https://www.kurabo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 藤田 晴哉  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務部長 (氏名) 藤井 裕詞 TEL 06-6266-5188  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	113,876	19.1	6,485	24.0	8,097	28.7	5,602	32.0
2022年3月期第3四半期	95,582	—	5,230	—	6,294	—	4,244	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 8,324百万円 (142.6%) 2022年3月期第3四半期 3,431百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	289.71	—
2022年3月期第3四半期	211.77	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	181,374	101,649	55.1
2022年3月期	167,285	97,415	57.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 99,989百万円 2022年3月期 96,016百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2023年3月期	—	35.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	153,000	15.7	7,400	△1.7	8,700	△1.0	6,000	7.1	312.22

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	20,000,000株	2022年3月期	20,756,228株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,185,977株	2022年3月期	971,652株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	19,338,311株	2022年3月期3Q	20,043,229株

(注) 当社は、取締役等に対し、信託を用いた株式報酬制度「株式交付信託」を導入しており、当該信託口が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報) .....	9
(収益認識関係) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年12月31日）におけるわが国経済は、ウィズコロナ下での行動制限の緩和などにより、景気は緩やかに持ち直してきましたが、資源価格などの高騰や円安の進行によるコストアップ、一部の半導体や電子部品などの供給不足などの影響により、本格的な景気回復には至りませんでした。

このような環境下にあつて当社グループは、2022年4月よりスタートした中期経営計画「Progress' 24」の基本方針である「高収益事業の拡大と持続可能な成長に向けた基盤事業の強化」のもと、半導体製造装置向け高機能樹脂加工品などの拡販に注力するとともに、基盤事業である繊維事業では、カジュアル需要の取り込みや独自技術による高機能・高付加価値素材の拡販などにより、業績回復に努めました。また、原材料などの価格高騰に対しては、販売価格への転嫁とコストダウンに取り組み、収益改善を図りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,138億円（前年同期比19.1%増）、営業利益は64億8千万円（同24.0%増）、経常利益は80億9千万円（同28.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は56億円（同32.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (繊維事業)

糸は、独自技術による高機能製品が順調に推移し、国内及び海外子会社ともに、増収となりました。

テキスタイルは、カジュアル向け素材の受注が海外子会社を中心に回復し、また、ユニフォーム向け素材も順調に推移し、増収となりました。

繊維製品は、カジュアル衣料の受注が増加したことにより、増収となりました。

また、これまで進めてきた収益改善策も着実に進捗しました。

この結果、売上高は433億円（前年同期比37.8%増）、営業利益は6億9千万円（前年同期は営業損失2億7千万円）となりました。

#### (化成品事業)

軟質ウレタンは、自動車内装材向けでは国内及び中国子会社で半導体不足や、中国のゼロコロナ政策の継続によるサプライチェーンの混乱の影響はあったものの回復傾向で推移し、また、ブラジル子会社の受注が順調で、全体では増収となりました。

機能樹脂製品は、半導体製造装置向け高機能樹脂加工品が好調に推移し、また自動車向け機能フィルムの受注が回復し、増収となりました。

住宅用建材は、景観材及び断熱材が順調で増収となりました。

不織布は、自動車用フィルター向けの受注が回復傾向にありました。

この結果、売上高は449億円（前年同期比17.8%増）、営業利益は27億3千万円（同26.4%増）となりました。

#### (環境メカトロニクス事業)

エレクトロニクスは、子会社で半導体洗浄装置の大型案件がありましたが、膜厚計や子会社のFA関連機器などがグローバルサプライチェーンの混乱による部品調達難の影響を受け、基板検査装置なども低調で、減収となりました。

エンジニアリングは、バイオマス関連設備及びプラント関係の大型案件が少なく、減収となりました。

バイオメディカルは、攪拌脱泡装置の海外向け販売などが順調で増収となり、また工作機械は、国内及び中国向けが堅調で、増収となりました。

この結果、売上高は158億円（前年同期比6.0%減）、営業利益は14億8千万円（同18.6%減）となりました。

#### (食品・サービス事業)

食品は、内食需要の定着により、成型スープの販売が好調で、増収となりました。

ホテル関連は、行動制限緩和や観光事業支援策の効果により、増収となりました。

この結果、売上高は69億円（前年同期比10.8%増）、営業利益は3億9千万円（同100.2%増）となりました。

#### (不動産事業)

不動産賃貸は、一部賃貸条件の変更などにより、売上高は27億円（前年同期比2.4%減）、営業利益は19億2千万円（同7.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金は減少しましたが、棚卸資産や売上債権が増加したことなどにより、1,813億円と前連結会計年度末に比べ140億円増加しました。

負債は、短期借入金が増加したことなどにより、797億円と前連結会計年度末に比べ98億円増加しました。

純資産は、利益剰余金や為替換算調整勘定が増加したことなどにより、1,016億円と前連結会計年度末に比べ42億円増加しました。

以上の結果、自己資本比率は2.3ポイント低下して55.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期（2022年4月1日～2023年3月31日）の連結業績予想につきましては、現時点では2022年11月10日に公表しました業績予想を変更しておりません。

なお、「四半期連結貸借対照表に関する注記（偶発債務）」に記載しております2022年6月30日に発生した火災事故（2022年7月27日「当社における損害発生の可能性に関するお知らせ」を公表）に関して当社に追加の損害が発生する可能性はありますが、現時点では損害などの影響については未確定なため、本連結業績予想には考慮しておりません。

今後、業績への具体的な影響が判明した場合には、速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,116	11,403
受取手形、売掛金及び契約資産	35,513	40,971
商品及び製品	12,133	15,584
仕掛品	7,587	10,466
原材料及び貯蔵品	5,751	8,325
その他	3,340	4,642
貸倒引当金	△44	△49
流動資産合計	78,397	91,344
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,642	23,353
その他（純額）	26,043	26,300
有形固定資産合計	49,686	49,654
無形固定資産	1,378	1,456
投資その他の資産		
投資有価証券	33,975	35,149
その他	4,060	4,017
貸倒引当金	△212	△248
投資その他の資産合計	37,823	38,918
固定資産合計	88,888	90,029
資産合計	167,285	181,374
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,419	23,235
短期借入金	8,864	17,647
未払法人税等	1,630	1,105
賞与引当金	1,478	592
その他	8,369	10,264
流動負債合計	42,761	52,846
固定負債		
長期借入金	3,499	3,112
役員退職慰労引当金	207	218
株式報酬引当金	74	116
退職給付に係る負債	12,963	12,968
その他	10,363	10,461
固定負債合計	27,109	26,878
負債合計	69,870	79,724

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	22,040	22,040
資本剰余金	15,210	15,210
利益剰余金	59,293	61,222
自己株式	△2,082	△2,476
株主資本合計	94,461	95,996
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,410	11,618
繰延ヘッジ損益	52	△126
為替換算調整勘定	△8,637	△7,257
退職給付に係る調整累計額	△270	△241
その他の包括利益累計額合計	1,555	3,992
非支配株主持分	1,398	1,660
純資産合計	97,415	101,649
負債純資産合計	167,285	181,374

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	95,582	113,876
売上原価	75,683	91,960
売上総利益	19,898	21,915
販売費及び一般管理費	14,668	15,430
営業利益	5,230	6,485
営業外収益		
受取利息	11	51
受取配当金	955	1,151
持分法による投資利益	—	28
為替差益	181	707
その他	318	246
営業外収益合計	1,466	2,185
営業外費用		
支払利息	138	243
持分法による投資損失	26	—
休止資産関係費用	135	154
その他	102	175
営業外費用合計	403	573
経常利益	6,294	8,097
特別利益		
投資有価証券売却益	402	431
固定資産売却益	124	6
特別利益合計	526	438
特別損失		
火災損害等損失	—	293
固定資産処分損	7	163
投資有価証券売却損	—	0
関係会社株式評価損	217	—
工場移転費用	134	—
事業構造改善費用	120	—
特別損失合計	480	456
税金等調整前四半期純利益	6,340	8,079
法人税等	2,138	2,347
四半期純利益	4,201	5,731
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△43	129
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,244	5,602



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	4,201	5,731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△873	1,207
繰延ヘッジ損益	△9	△179
為替換算調整勘定	17	1,500
退職給付に係る調整額	113	28
持分法適用会社に対する持分相当額	△18	35
その他の包括利益合計	△770	2,592
四半期包括利益	3,431	8,324
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,495	8,039
非支配株主に係る四半期包括利益	△64	284

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

(偶発債務)

当社の化成品事業部が防熱工事を実施したSBSフレック株式会社様の物流施設、阿見第二物流センター（所在地：茨城県稲敷郡阿見町星の里6-1）において、2022年6月30日に火災が発生し、2022年7月5日に鎮火しました。

当第3四半期連結累計期間において、SBSフレック株式会社様からの要請を受け、関係する会社間で協議、決定した当社負担金及びその他諸経費計293百万円を特別損失「火災損害等損失」に計上しました。なお、現時点では本件火災における責任割合や本件火災による全体の損害額は未確定であることから、上記の支払いは暫定的なものであり、現在継続しております消防による本件火災の原因等の調査や関係先との協議等の結果によっては、全体の損害額等に基づき当社に追加の損害が発生する可能性があります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

1. 自己株式の取得

当社は、2022年5月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式969,800株の取得を行いました。これにより、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,999百万円増加しております。

2. 自己株式の消却

当社は、2022年5月12日開催の取締役会決議に基づき、2022年5月23日付で、自己株式756,228株の消却を実施いたしました。これにより、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ1,607百万円減少しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が2,476百万円となりました。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(火災の発生)

「四半期連結貸借対照表に関する注記（偶発債務）」に記載しております火災事故につきましては、消防による火災原因等の調査が継続しており、現時点において、本件火災事故による当社の追加の損害の内容・額等は未確定です。今後、業績への具体的な影響が判明した場合には、速やかにお知らせいたします。

(新型コロナウイルス感染症の影響)

2022年3月期決算短信の（追加情報）に記載した新型コロナウイルス感染症の影響について、重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維事業	化成品 事業	環境メカ トロニク ス事業	食品・サー ビス事業	不動産 事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	31,500	38,140	16,808	6,270	2,861	95,582	—	95,582
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	32	62	300	28	374	798	△798	—
計	31,532	38,203	17,109	6,298	3,236	96,380	△798	95,582
セグメント利益 又は損失 (△)	△277	2,164	1,828	197	2,093	6,005	△775	5,230

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△775百万円には、全社費用△765百万円及びその他の調整額△9百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維事業	化成品 事業	環境メカ トロニク ス事業	食品・サー ビス事業	不動産 事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	43,394	44,935	15,806	6,946	2,793	113,876	—	113,876
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	31	74	221	31	329	689	△689	—
計	43,426	45,010	16,028	6,977	3,123	114,566	△689	113,876
セグメント利益	692	2,735	1,488	395	1,928	7,240	△755	6,485

(注) 1. セグメント利益の調整額△755百万円には、全社費用△759百万円及びその他の調整4百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

[財又はサービスの種類別の内訳]

前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計
	繊維事業	化成品事業	環境メカトロ ニクス事業	食品・サービ ス事業	不動産事業	
糸	10,267	—	—	—	—	10,267
テキスタイル	15,007	—	—	—	—	15,007
繊維製品	10,114	—	—	—	—	10,114
軟質ウレタン	—	12,725	—	—	—	12,725
機能樹脂製品	—	15,186	—	—	—	15,186
住宅用建材	—	6,485	—	—	—	6,485
エレクトロニクス	—	—	8,562	—	—	8,562
エンジニアリング	—	—	4,937	—	—	4,937
食品	—	—	—	5,059	—	5,059
サービス	—	—	—	1,238	—	1,238
その他	—	6,622	4,520	—	—	11,142
内部売上高	△3,889	△2,879	△1,210	△28	—	△8,007
顧客との契約から生 じる収益	31,500	38,140	16,808	6,270	—	92,720
その他の収益	—	—	—	—	2,861	2,861
外部顧客への売上高	31,500	38,140	16,808	6,270	2,861	95,582

当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計
	繊維事業	化成品事業	環境メカトロ ニクス事業	食品・サービ ス事業	不動産事業	
糸	14,056	—	—	—	—	14,056
テキスタイル	19,413	—	—	—	—	19,413
繊維製品	15,477	—	—	—	—	15,477
軟質ウレタン	—	15,860	—	—	—	15,860
機能樹脂製品	—	17,497	—	—	—	17,497
住宅用建材	—	8,039	—	—	—	8,039
エレクトロニクス	—	—	8,313	—	—	8,313
エンジニアリング	—	—	3,444	—	—	3,444
食品	—	—	—	5,184	—	5,184
サービス	—	—	—	1,793	—	1,793
その他	—	6,669	4,985	—	—	11,655
内部売上高	△5,554	△3,130	△937	△31	—	△9,653
顧客との契約から生 じる収益	43,394	44,935	15,806	6,946	—	111,082
その他の収益	—	—	—	—	2,793	2,793
外部顧客への売上高	43,394	44,935	15,806	6,946	2,793	113,876